

主事業の提案は。

答 指定管理候補者からは機能回復訓練室を使ったトレーニング教室の提案がされている。
問 施設全体の指定管理料が増額されている理由は。

答 施設は昭和62年に建設されたものであることから、老朽化が進んでおり、修繕料部分で増額となった。



一之宮公民館（高山市一之宮老人福祉センター）

文教産業委員会

文教産業委員会では12グループ34施設に関する12件の議案の審査を行いました。

●全般について

問 今後、大規模な修繕対策が必要な施設はないのか。

答 各施設の修繕については、大規模なものについては市で行う。小規模なものについては指定管理者での対応となる。目安となる修繕費は指定管理料の中に反映している。今回、指定管理料の協議を進める中で、施設の経年劣化を踏まえ、指定管理者から修繕料の増額要望もあり、施設の実態を把握し、必要に応じて指定管理料に反映している。

●丹生川文化ホール

ほか5施設

問 丹生川文化ホールの評価シートでは、平成25年度の全体収支が約130万円のマイナス収支となっている。指定管理料に大きな変化が見られないが、収支改善に向けて、どのような協議がされたのか。

答 マイナス収支は、夜間勤務や土・日・祝日の対応において人件費が増額したことが大きな要因である。指定管理者からは、今後、施設の利用促進も含め、収支改善に向けた運営体制についての提案をいただいている。



丹生川文化ホール

●久々野公民館

ほか7施設

問 年間間の利用状況は。

答 利用件数は平成23年度が918件、平成24年度が907件、平成25年度が837件となっている。

問 久々野公民館にある図書館は非常に狭い。窓際に本棚が高く積み上げられているため、子どもたちが本を取るのに苦労している。今後、増改築等の計画はないのか。



久々野公民館

●国府文化ホール

問 こくふコミュニティ施設運営協議会として、代表団体が国府地区社会教育運営委員会、構成団体が高山市文化協会となっているが、その意図は。

答 国府地区社会教育運営委員会については、地域づくり活動を通じて地域の事情に精通している。高山市文化協会については、市全体の文化振興を図っている。互いのノウハウを活用することで、地域の文化を高めることができる。

の意図は。

問 新規の指定管理施設であるが、指定管理料の積算根拠は。

答 平成23年7月に開館した施設であり、平成24年度と平成25年度の維持管理経費などの実績を参考に算出している。

問 今まで、ホールの照明・音響などの舞台操作については、専門の業者に依頼していたが、今後はどうなるのか。

答 個々の催し物の舞台操作において、専門の技術者が必要となる場合は、今までの業者に固定するというのではなく、利用者と協議しながら対応することとなる。

問 自主事業の内容は。

答 文化ホールのホワイエを活用した住民の作品展示、地域の文化活動となる。



国府文化ホール

問 飛騨位山文化交流館指定管理料が25万円減額となった要因と、多目的利用に対する方向性は。

答 減額となった主な要因は、人件費が実績と比べて多かつたためである。また、多目的利用に

また、多目的利用に